

9 / 12 thu. 13 fri. 大阪・味園ユニバース

グループ魂

久々単独ライブと初大阪開催フェスで
バンドの真価を見せつけた2days

破壊(vo/阿部サダヲ)、暴動(g/宮藤官九郎)、バイト君(大道具,cho/村杉蟬之介)、小園(b/小園竜一)、石鯨(dr/三宅弘城)、運刻(g/富澤タク)、港カヲル(MC,cho/皆川猿時)から成るバンクコントバンド・グループ魂が、連日異なる公演で初の大阪・味園ユニバースを占領。その怒涛の2daysをレポート。

初日は約3年ぶりとなる単独ライブ【大阪、水入らず】が開催。本公演は当初、事前に募ったファン投票によるリクエスト上位20曲でセットリストを組むことがアナウンスされていた。「早速お詫びがございませぬ。(東京公演とは)趣向を変えてみよう追加リクエストを募集したんですけど、やっぱり10曲しかできませんでした。もうおじいちゃん達ですら昔の曲を思い出せないんですって」(カヲル)。ということで、ステージには黒柳徹子に扮したバイト君とカヲルが登場し、「伝説的某音楽番組スタイル」による上位10曲のランキングを中心にお届けすることに。

10位には早くも『君にジュースを買ってあげる♥』、9位『服部』と、のっけから鉄板曲の連打で観客も一気にヒートアップ。そこから十八番コント・中村屋へ傾れ込み、カヲルらの飛ばしっぷりに「前半から畳み掛けんじゃねえ」と破壊が思わずたじろぐ場面も。全曲演奏は叶わなかったものの20位~11位も発表され、その中からライブではレアな12位の『幼稚&デストロイ』と「歳とって我々が曲に追いついて、今ちょうどいい感じ」(暴動)という20位の『ラブラブエッセイム'82』をピックアップ。ランキングに戻り、8位『SHIKAN』、7位『チャーのフェンダー』に続き、東京の圏外から6位に躍り出た『欧陽菲菲』では大阪限定助っ人、念仏(per/ASA-CHANG)を招き、元キャバレーだった雰囲気を残す会場をアジア的エキゾチック感で満たしていた。

中盤、5位の『スーパー!サマー!アックスボ

SET LIST 【9/12「大阪、水入らず」】

- 君にジュースを買ってあげる♥
- 服部~中村屋(コント)
- 幼稚&デストロイ
- ラブラブエッセイム'82
- SHIKAN
- チャーのフェンダー
- 欧陽菲菲
- 押忍!てまん部
- Over 30 do The 魂
- さかなクン
- スーパー!サマー!アックスボンバー!ラブハンター!06!
- ハイテンション・パブの反省会(コント)
- 津川雅彦
- ウイリアム・カウパー
- ベニスJAPAN
- もうすっかりNO FUTURE!
- 職務質問
- ラブラブ♡マンハッタン
- モテる努力をしないでモテたい節

ENCORE

- 破壊・暴動・バイト君(コント)
- パンチラ・オブ・ジョイトイ
- TMC

ンバー!ラブハンター!06!』を経て、コントでは最も上位に食い込んだ『ハイテンション・パブの反省会』を披露。「テンション低かったから」が決め台詞の店員役・運刻のテンションが徐々に高くなり、これには「コントの構造を無視してる」とメンバーを驚かせ、店

長役・破壊は背中がすり(!!)、これには会場中が爆笑の嵐。おなじみ“人名シリーズ”2曲を挟み、納得の歓声が上がったのは4位『ベニスJAPAN』。そしてトップ3の前に、「スポットライト」として約7年ぶりのシングル『もうすっかりNO FUTURE!』が演奏されるとハンスアップの波が立ち、一体感に包まれた。その熱を持ったまま、M・ジャクソンばりのビートでダンスを決める3位『職務質問』、さらに2位のTOKIOへの提供曲『ラブラブ♡マンハッタン』から1位『モテる努力をしないでモテたい節』と、ここぞとばかりに観客もシンガロングとコール&レスポンスで興奮の沸点へ。

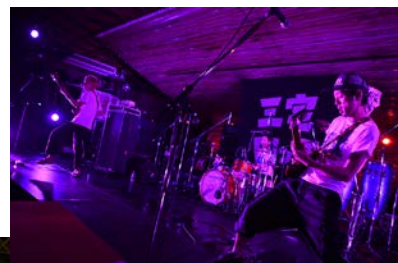
アンコールでは『破壊・暴動・バイト君コント』が7年ぶりに復活。バイト君は「オレ泣いたんだぜ、嬉しくてさあ」と感慨深げ。さらに「練習してない曲をやってみようコーナー!」として『パンチラ・オブ・ジョイトイ』、代表曲『TMC』で再びファンを熱狂させ、最後は集合写真の撮影でライブの幕を閉じる。定番曲のランク圏外など予想外の展開にメンバーには戸惑いのリクエスト企画となったが、原点からレア曲、現在地までベストのステージにファンにとっては堪らない一夜だった。

そして翌日は、石鯨こと三宅弘城の満50歳記念として今年始まった対バン・シリーズ【三宅ロックフェスティバル】が大阪に初お目見え。vol.3となる今回は、メンバーたつての希望で実現した関西ソウル界のゴッドファーザー、ザ・たごさん、暴動と石鯨、LTD EXHAUST、199x=3のよーかいくん(b)による画紙も参戦。

開演時間19時ちょうど、下ネタがつつりのカ



ヲルの口上につき、この日は主役・三宅による恒例“おっばい元気?”コールで幕開け。トップバッターはザ・たごさん。山口しんじ(g)、オカウチ・ポテト(b)、マサ☆吉永(dr)のみのインスト曲『ネギ畑』でフロアをブルージーに染めると、“悲しき怪人”安藤八主博(vo)が囁奏とフロントに。ファンキーな『ナイスミドルのテーマ』ライブバージョンや15分に及ぶ大作『突撃!となりの女



風呂(On A Blow)』など、モノマネあり、MCキタバヤシとのマントショーあり、骨太なグループと独特の歌世界、笑いとむさ苦しいほど熱いパフォーマンスでオーディエンスを圧倒した。

次に登場したのは画紙。いきなり『画紙のテーマ』を演奏したかと思うと、よーかいくんが「一気に15曲やります! トイレ行ってる間に3曲ぐらい終わってるぞ」と煽り、80年代ハードコア直系のサウンドとナンセンスな詞によるオリジナル曲『更年期』『倦怠期』などを矢継ぎ早にプレイ。残すは2曲となったところで、シークレット・ゲスト、元JAPAN狂撃SPECIALのキワメミチJUNZO(vo)が呼び込まれ、自身の『朝日』や『ON MY BEAT』のカバーを画紙バージョンで披露、

SET LIST 【9/13「三宅ロックフェスティバル vol.3」】

ザ・たごさん

- ネギ畑
- ロクシマのテーマ
- カッコイから大丈夫
- ザ・たごさんのテーマ
- (Make It) FUNKY TENGA
- ニガ笑いのマティ
- お豆ボンボン
- 突撃!となりの女風呂(On A Blow)
- 五月の鯖PT-2

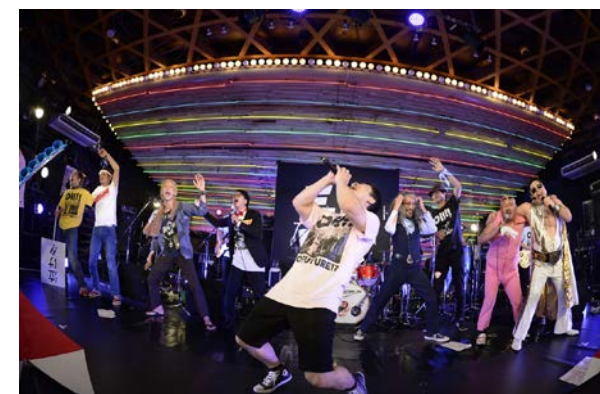
画紙

- 画紙のテーマ
- ワン&オンリー
- 更年期
- 倦怠期
- ペヤング
- くさるな
- すんまへん
- ガスタック
- ビートルズ
- パンクたるもの
- SNS
- おばさん
- エンケン
- ええやんけ
- 朝日
- オンマイビート

グループ魂

- 津川雅彦
- アイサツはハイセツよりタイセツ
- チャーのフェンダー
- High School
- 欧陽菲菲
- さかなクン
- スーパー!サマー!アックスボンバー!ラブハンター!06!
- 君にジュースを買ってあげる♥
- 職務質問
- もうすっかりNO FUTURE!
- ベニスJAPAN
- モテる努力をしないでモテたい節
- Over 30 do The 魂
- 男は泣く

★中村屋



フロアの熱量をさらに上げていった。トリはもちろんグループ魂。カヲルお約束の口上&コールから間髪入れず『津川雅彦』『アイサツはハイセツよりタイセツ』『チャーのフェンダー』と直球ロック・サウンドで次々攻め立て、カラフルな『High School』で始まった第2ブロックでその勢いは加速。中村屋やMCで会場を笑

いの渦に巻き込みつつも、良い意味で前日とは違ったロックバンドとしての粋を感じる熱気に満ちたライブを繰り広げていた。カヲルも「イイじゃないの。とても昨日ワンマンをやったおじいちゃん達とは思えない。さては今日誰か死ぬね!」と独特の表現で充実感を滲ませた。新曲『もうすっかりNO FUTRUE!』でラストスパートに入ると、スリッパが飛び交った『モテる努力をしないでモテたい節』で盛り上がりも最高潮となり本編が終了。

出演メンバー全員がステージに揃い、大合唱が沸き起こるライブ定番曲『Over 30 do The 魂』でアンコールに応じると、ザ・たごさんのマサ☆吉永が替わってドラムを叩き、三宅がマイクを握るフェスのテーマ曲『男は泣く』で大団円を迎えた。三宅の「大阪もついていたかったな。またやるからね」の言葉に、客電が点いても鳴り止まない拍手が応えていた。

New Single 『もうすっかりNO FUTRUE!』 out now!!



©ソニー・ミュージックレーベルズ